



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：私たちの未来は、今日より始まる
アジア地域会長主題：ワイズ運動を尊重しよう
東日本区理事主題：明日に向かって、今日動こう
あずさ部長主題：あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！
甲府クラブ会長主題：楽しみながら広げよう、ワイズの心

Joan Wilson (カナダ)
Tung Ming Hsiao (台湾)
利根川 恵子 (川越)
浅羽俊一郎 (東京山手)
丹後 佳代

甲府クラブ
2016年12月会報
●今月の強調目標
EMC/MC

■今月のことば■

日本キリスト教団 葦崎教会 小島仰太牧師 選
「ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、
布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである」
(ルカによる福音書 2 : 1 ~ 7)

◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

C S と E S

会長 丹後佳代

とうとう12月になってしまいました。「もう一いつ寝ると～お正月～」ですね。

12月から3月まで東日本区では会員増強活動推進の一環として、インビテーションキャンペーンを実施しています。甲府クラブもぜひ会員増強につなげていきたいと思ひます。

マーケティング用語で「CS」という言葉を聞いたことがある方も多いと思ひます。また、それと対比した言葉で「ES」というのも最近とても重要視されてきています。CSとは (Customer Satisfaction) = 顧客満足です。ESとは (Employee Satisfaction) = 従業員満足です。ワイズメンズクラブの会員は、従業員でも顧客でもありません。しかし、現会員が、甲府クラブに所属することに満足していれば友人を誘おう、知人を誘おうと思ってくれるはずで、もちろんワイズメンズクラブは奉仕することを目的とする団体です。しかし、会員が「甲府クラブに所属すること」に何ら意味を持ち、満足することが必要だと思ひます。

そのためにも会員自身が何をすれば「満足がいく例会にできるか?」「もっと例会の出席率が上がるか?」「会員を増強できるか?」を考え、意見を出して頂きたいと思ひます。どんなことでもかまいません。意見を出して頂きたいです。甲府クラブに入会して良かったと思えるような甲府クラブにできるよう、ご協力をお願いいたします。

12月クリスマス例会

日時：2016年12月13日(火) 会場：談露館
メン3千円 メネット2千円 コメット等(中学生以下)5百円
担当：クラブサービス委員会 司会：荒川洋一会員

プログラム

- | | | |
|--------------------|----------------------|---------|
| 第1部 | クリスマス礼拝 | 18:00～ |
| ・司式 | 日本キリスト教団 葦崎教会 小島仰太牧師 | |
| 第2部 | 例会セレモニー | 18:45～ |
| ・開会点鐘 | | 丹後佳代会長 |
| ・ワイズソング・ワイズの信条 | | |
| ・会長挨拶～ゲスト紹介 | | 丹後佳代会長 |
| ・諸報告 | | |
| ・ハッピーバースデー&アニバーサリー | | |
| 第3部 | 祝会 | 19:00～ |
| ・食前の感謝 | | |
| ・乾杯～クリスマスディナー | | 二子石宣秀会員 |
| ・ゲーム、歌 | | 露木淳司会員 |
| ・オークション | | |
| ・甲府ワイズの歌 | | |
| ・閉会点鐘 | | 丹後佳代会長 |

11月のデータ

会員数	38名	例会出席	20名
メネット	1名	出席率	53%
ゲスト	2名	佐宗玲子氏・須郷利貴氏(中央大学 YMCA)	
ビジター	3名	浅羽あずさ部部長(東京山手)、 長谷川あや子さん・小口多津子さん(東京八王子)	
ニコニコボックス	6,500円	(累計 47,800円)	

11月例会報告

甲府クラブ11月例会は、11月8日(火)、ホテル談露館において定刻どおり、丹後会長の点鐘で開会しました。今月は、今夏台北で開催されたIYC(インターナショナル・ユースコンボケーション)に参加した、中央大学の佐宗玲子さんと須郷利貴さん(中央大学ひつじぐも)のIYC報告を聞くプログラムでした。浅羽俊一郎あずさ部長(前年度東日本区ユース事業主任)と、IYCへ二人を推薦した東京八王子クラブの小口多津子さん、長谷川あや子さんも出席されました。

丹後会長の挨拶では、11月3日の山梨YMCAバザーの成果が昨年よりも上回った事、メネットの協力にも感謝する旨の報告がありました。また、今後のバザー運営の参考とするためアンケート用紙が配布されました。

今月のことばはピーター会員が担当。17世紀イギリスの作家、アイザック・ウォルトンの言葉とスコットランドの伝統的な食前感謝「ザ・セルカーク・グレース」を織り交ぜて紹介しました。



浅羽部長からは、若者が社会で発言権を得られるようにしたい、今日のユースの話をよく聞いて下さい、との挨拶がありました。

さて、佐宗さん、須郷さんお二人の卓話は、①自己紹介、②中央大学YMCA(ひつじぐも)の紹介、③IYC、AYCの説明、④IYCで学んだ事、の構成でパワーポイントを使い進められました。お二人の話から、東京八王子クラブとの関係もよく理解出来ました。また、IYCでの経験を通して得たことを、今後の活動に活かして行きたいという姿勢がわかり、貴重な経験をされて良かったと思います。



この後、会員増強について、秋山あずさ部会員増強事業主査から、インビテーションキャンペーンの説明があり、これを受けて、大澤会員増強委員長から「甲府クラブ会員増強マニュアル」とEMC関係資料が配布され、来年4月～5月の入会を目指して、会員獲得の協力の要

請がありました。

諸報告では、①荒川会員：12月例会オークション出品依頼、②田草川会員：YM・YW合同祈祷会の案内、③鈴木会員：故孝子メネット会葬御礼、④渡辺徳之会員：来年5月、台南クラブ50周年訪問予定の案内がありました。(仙洞田安宏)

会員短信

11月20日、アピオ甲府において、平成28年度山梨県の県政功績者の表彰式があり、鶴田一郎会員が産業部門で受章されました。

11月22日(火)、十勝クラブの山田敏明会長が、業界の用事で長野へ来られた帰りに、平原会員宅を訪問されました。お二人は、日本区時代の1994-95年度に北海道部と東部の部長をされた仲です。山田さんのパワーで平原さんも元気を頂いたようです。(仙洞田安宏)



東日本区定款「前文」募集

募集期間：2017年3月10日(金)まで

前文の字数：200～800字

送付先：東日本区定款改訂委員会 田中博之書記

【参考1】「前文」作成の提案(2013-14年度第3回東日本区役員会 第7号議案)：「ワイズやYMCAを取り巻く環境は日々流動化しており、これからの変動する時代を見据えるとき、私たちの運動は、奉仕団体としてより広い視野を持ちつつ、青少年をはじめ、あらゆる世代、性別、宗教、時代の違いを超えて、多くの人々から共感と理解を得られる集団でありたい。この思いを東日本区定款に反映させるため、ワイズとYMCAの理念をよりよく理解できる魅力的で格調の高い表現を作成すべきと提案いたします。」

【参考2】「これが国際憲法や東日本区定款のモットー、要綱、目的等を包含したワイズのエッセンスです」と言えるようなものが望ましい。できれば、会員の減少傾向に歯止めをかけるべく日々EMC対策に取り組んでいる現状を考えると、会員勧誘などにも効果的に使用できて、かつ、今後長期にわたっての使用に耐えられるようなものを期待しています。

11月役員会報告

◎11月22日(火) 18:30~21:00 山梨YMCA
◎出席者 丹後、標、秋山、仙洞田、大澤、マウントフ
ォード、荒川

【報告事項】

○11月例会報告 (1, 2ページ参照)
○YMCAバザーについて 丹後会長より報告
びっくり市 ¥273,071 (昨年より+49,611)
パウンドケーキ ¥40,000 (+15,000)
のみの市 ¥10,070 (+3,490)
全体 ¥1,064,361 (+254,146)

来場者は少なかったかな、と思いましたが、売り上げは多くなりました。ご協力ありがとうございました。後かたづけの人手がなく大変だった。駐車場が多くてよかった。12月8日に反省会が行われる。

○その他報告 ・十勝クラブの山田会長が来甲。平原会員宅に仙洞田会員と訪問。お土産と、十勝クラブ周年記念に送った祝電のお礼をいただく。(仙洞田会員)

・退会した石塚さんが、出来る事があれば協力したい、ワイズの活動を知りたいということで、メーリングリストに復活する。(丹後会長)

・ブドウファンドは、33,510円で、来期からは委員会の事業にしたいので、今後協議したい。(丹後会長)

【協議事項】

○12月例会について・・・クラブサービス委員会 荒川委員長からクリスマス例会のプログラム案が出され協議のうえ承認。クリスマス礼拝のプログラムは大澤会員から提案があり承認。英和大学の留学生を3名招待することを承認。人選は鈴木会員に一任。

○1月例会について・・・1月10日(火) ホテル談露館でおこなう。詳細は後日、担当の甲府21クラブより連絡がある。

○松本クラブ(アジア賞のYMCA賞について)・・・昨年はじめた山梨YMCA賞の趣旨の説明が仙洞田会員、秋山会員、標会員からあり協議して承認。山梨YMCA賞なのでYMCAの代表が参加する。次期も引き継ぎ継続することとする。

○和歌山クラブ交流会について・・・東山荘で行う東西日本区交流会の中で交流する(フェローシップアワー)。多くの甲府クラブ会員が参加するように例会などでアピールし、メールでも募集する。

○富士クラブの交流会について・・・富士クラブの例会で協議して、連絡をもらう事になっている(丹後会長)。

○プルタブの扱いについて・・・今ある物と2月例会に集まる物を換金して、「ぶどうの木」に寄付をすることを協議承認。

○甲府駅北口の「正月をあそぼう」について・・・例年のようにクラブでは「紙ひこうき」に協力する。その際地域奉仕委員会が中心となっておこなう。また子供達に参加賞を出して欲しいと依頼があり、協議して地域奉仕委員会の予算からお菓子代をだすことを承認。

○その他 「クラブ運営について」・・・平原会員より貴重なご意見を書面でいただき、今回も話し合いがおこなわれた。委員会活動を活発にするにはどうしたらよいか。など役員会協議をしてきた事の反省も兼ねながら30分以上話合った。結果は出ませんが、確実に運営方法が改善できる話の内容でした。1月24日の次回役員会では新年会も兼ねて行い、役員以外の会員にも参加してもらうことにしました。(標)

山梨YMCAバザーびっくり市

田草川すみ江

毎年恒例のバザー、私は、今まで体育館の会場入り口で他のものを売っていましたが、今年初めて「びっくり市」のレジの場所にて責任を持たせて頂きました。品物が年々少なくなっていく中、最初のうちは売れるのかしら？と少々心配でした。が、開始と同時に大勢の方々が訪れました。飛びつくように目的の場所に行って籠いっぱいを持ってくる人、なが〜い間お友達とお喋りしながら吟味して買って行く人。一度会場を出てから又、買いに来る人等々、様々でした。

レジはベテラン？の5人の対応。何とかスムーズに対応出来たと思います。お客様はYの会員は勿論、ご近所の方々、外国の方々。「ポスターを見て遠方から聞きつけてきました」という人。「あら〜お久しぶりです。お元気でしたか？」と何人もの方々に声をかけられ嬉しい再会の時でもありました。

最近の傾向か、値下げを待っている方々も大勢いました。市価より随分安いので皆さんとてもにこやかで嬉しそうに買い物をしている姿が何とも微笑ましい光景でした。バザーを通して一人でも多くの方々が山梨YMCAを訪れ会館の中へ足を踏み入れて下さったことを嬉しく

思います。又、これからも地域に根差した活動が出来るようお願いしています。



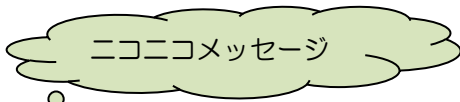
YMCA
たより

新しいYMCA会館の候補地が16件を超えました。これだけの物件が取り沙汰されていることに驚きと喜びを覚えています。ご尽力いただいている

皆様に感謝申し上げます。

さて、今YMCAでは発達障害児のための児童デイサービス事業の開設準備が本格化しています。発達に偏りがある、なかなか通える幼稚園が見つからない幼児や、支援学校が終わった後の時間を有効に過ごしたい小学生の親子のために、スキルアップトレーニングなどを提供する事業です。皆さんにご協力いただいているチャリティーランのおかげで、広がってきた障害児支援活動の一環でようやくここまで辿り着きました。無事に開設できますよう、皆様の祈りに加えていただければ幸いです。

(露木)



鈴木健司会員 過日、妻孝子の葬儀には多数会員の方々にご会葬いただき、ありがとうございます。今後ともよろしくお祈りします。YMCAバザーご苦労様でした。

12月 Happy Birthday

- メン 小倉恵一(2日) 標 克明(15日)
- 田中克男(23日)
- メネット 廣瀬昌子(26日)

12月 Wedding Anniversary

- 丸茂正樹 ♡ 宣恩(1日)

今後の予定

- 12月17日(土) 「アジア賞授賞式」(松本クラブ) 松本市 深志神社 梅風閣 (15:00~)
- 12月20日(火) 12月役員会(YMCA 18:30~)
- 1月7日(土) 「お正月を遊ぼう」 甲府駅北口よっちゃばれ広場他(9:30~)
- 1月7日(土) 「在京ワイズ合同新年会」 東京YMCA山手コミュニティセンター(12:30~)
- 1月10日(火) 新年合同例会(談露館・甲府21担当)
- 2月4日(土)~5日 第2回東西日本区交流会(東山荘) 4日 14:00~「語ろう! 未来につなぐワイズスピリットを!」 和歌山クラブとの交流会も予定されています。

闘病生活に想う

—ワイズとの絆—

平原貞美

11月例会で、あずさ部秋山仁博主査より、会員拡大のキャンペーンを各クラブで競い合う号砲が発せられました。古参ワイズ甲府クラブの実力が試される時がやってきました。大澤委員長を中心に、既に作成された人材名簿に基づく会員勧誘に、会員一人一人がどれだけ責任を果たし、行動なさるかどうかがです。これはワイズとしての権利と義務だと思います。

さて、前回に続いてクラブ活性化に関する本題に戻ります。直近三か月の例会出席者は、9月26名、10月25名、11月23名です。役員会もそれぞれ、6名、8名、7名と低迷しています。かつて甲府クラブは55名を擁し、熱海クラブとトップ争いをしていました。その頃の、例会の出席率も高く、活力ある奉仕活動に比べ、情けない寂しさを感じます。

クラブ活動は「例会」が原点です。楽しく学び合い、魅力ある例会でなければ意味がなく、どうしても出席しようという気力も湧いてこないでしょう。

では、どうするか。例会の仕組みをちょっと変えてみたらどうでしょうか。人は変化することで気持ちも新たになります。一つの試案ですが、会員の皆様の智慧と共に検討してください。

- ①各テーブルにテーブルマスターを置く(役員会で指名する)。
- ②テーブルマスターは、テーブルのメンバーが必ず例会中に発言するよう配慮する。
- ③話題は、例会への意見、世間での関心事項、仕事のこと、食事のこと、欠席者の情報、ゲストの希望 etc、どんなことでもよい。
- ④テーブルメンバーは毎月入れ替える。
- ⑤特別ゲスト、卓話者などを除き、ビジター等も各テーブルに分散するようお願いする。
- ⑥テーブルマスターは、例会主題をどれだけ理解し、集中していたかをよく観察する。
- ⑦テーブルマスターは、これらのことを定型の用紙に記入し、例会終了時に書記へ提出する。
- ⑧記載された内容は、次回役員会で披露し、前例会を反省する材料とし、次回以降の改善につなげていく。

これは私案に過ぎませんが、このことに限らず、簡単にできることはまだまだいくらかあるでしょう。皆さんも一緒にいろいろと考えてみてください。

